

愛称：ユーロ ブーケ

アムンディ・毎月分配ユーロ債券ファンド

追加型投信／海外／債券

第 42 作成期

第213期（決算日 2023年6月14日）

第214期（決算日 2023年7月14日）

第215期（決算日 2023年8月14日）

第216期（決算日 2023年9月14日）

第217期（決算日 2023年10月16日）

第218期（決算日 2023年11月14日）

作成対象期間（2023年5月16日～2023年11月14日）

第218期末（2023年11月14日）	
基準価額	5,281円
純資産総額	974百万円
第213期～第218期	
騰落率	9.2%
分配金（税込み）合計	60円

(注) 騰落率は分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

●受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚くお礼申し上げます。

当ファンドはこの度、上記の決算を行いました。

当ファンドは、主として、ユーロ建の債券市場（国債等公共債・国際機関債・社債等）へ投資する外国投資信託、「Amundi Funds ユーロ・アグリゲート・ボンド」と「Amundi Funds ユーロ・コーポレート・ボンド」の投資信託証券を主な投資対象とし、信託財産の着実な成長と安定的な収益確保を図ることを目指して運用を行うことを基本方針とします。外国投資信託の投資信託証券の組入れ比率は原則として高位を維持します。原則として、為替ヘッジは行いません。

当作成対象期間につきましてもそれに沿った運用を行いました。

ここに運用状況についてご報告申し上げます。

今後とも一層のお引き立てを賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

- 当ファンドは、投資信託約款において運用報告書（全体版）に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。

【閲覧方法】

右記<お問い合わせ先>に記載されているホームページアドレスにアクセス⇒「ファンド情報」メニューから「ファンド・基準価額一覧」（当ファンドが償還した場合は「償還ファンド一覧」）をクリック⇒当該一覧から当ファンドのファンド名称をクリック⇒運用報告書（全体版）をクリック

- 運用報告書（全体版）は、受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

アムンディ・ジャパン株式会社

〒105-0021 東京都港区東新橋1丁目9番2号

<お問い合わせ先> お客様サポートライン：050-4561-2500

受付は委託会社の営業日の午前9時から午後5時まで

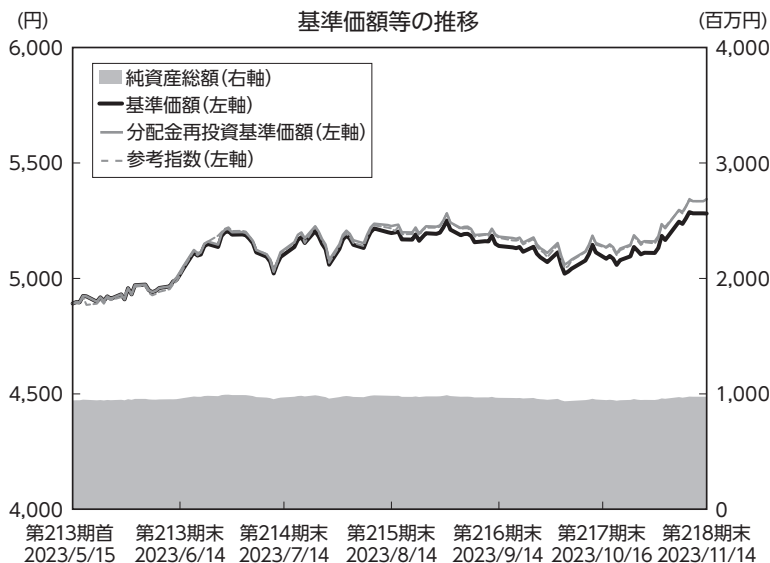
ホームページアドレス：https://www.amundi.co.jp/

<3247003・3270920>

運用経過

基準価額等の推移

第213期首	4,891円
第218期末	5,281円
既払分配金 (税込み)	60円
騰落率	9.2% (分配金再投資ベース)



(注1) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注2) 実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注3) 参考指数は、ブルームバーグ・ユーロ総合インデックス（円換算ベース）です。

(注4) 分配金再投資基準価額および参考指数は、2023年5月15日の値を基準価額と同一となるように指数化しています。

基準価額の主な変動要因

上昇要因

- ① 当作成期初および9月以降にクレジット・スプレッド（国債との利回り格差）が縮小したこと
- ② 当作成期を通じてユーロが対円で上昇したこと

下落要因

- ① 当作成期を通じて、欧州のインフレ率は減速しているものの依然として高水準であり、金融政策の不透明感から国債利回りが上昇（債券価格は下落）したこと
- ② 米国および欧州の中央銀行が当作成期中に引き締め姿勢を維持し、政策金利を引き上げたこと
- ③ 8月に発表された中国の経済指標が示した減速が大きなサプライズとなり、欧州への影響が懸念され、クレジット・スプレッドが拡大したこと

1万口当たりの費用明細

項 目	第213期～第218期 (2023年5月16日 ～2023年11月14日)		項 目 の 概 要
	金額	比率	
(a)信託報酬 (投信会社) (販売会社) (受託会社)	17円 (4) (11) (1)	0.330% (0.083) (0.220) (0.027)	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 委託した資金の運用の対価 交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、 購入後の情報提供等の対価 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b)その他費用 (監査費用) (その他)	0 (0) (0)	0.005 (0.005) (0.000)	その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用等
合 計	17	0.335	
期中の平均基準価額は5,121円です。			

(注1) 費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 消費税は報告日の税率を採用しています。

(注3) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

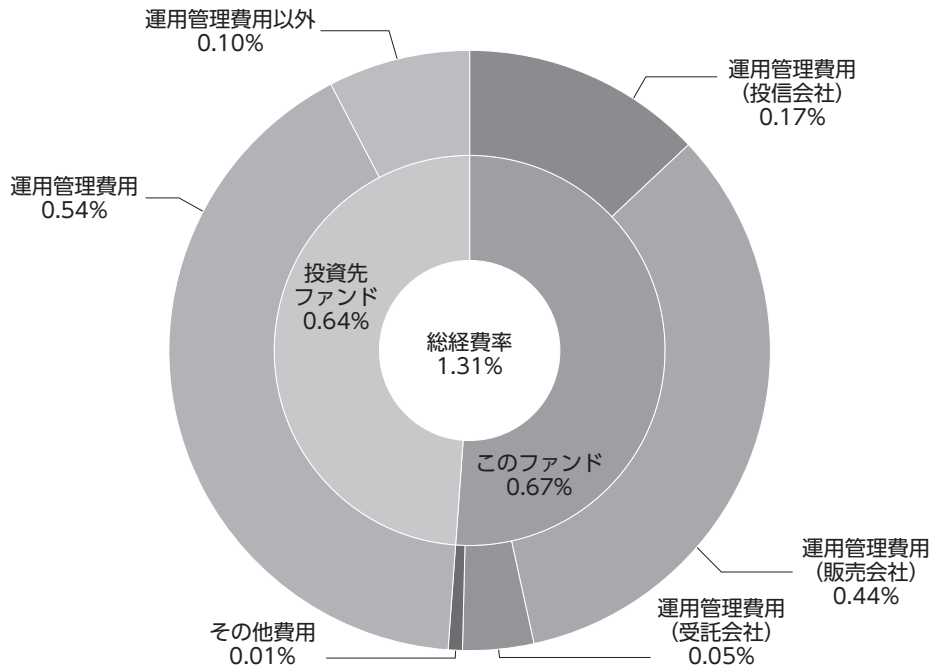
(注4) 各項目の費用は、このファンドが組入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。

(注5) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

● 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.31%です。



総経費率 (①+②+③)	1.31%
①このファンドの費用の比率	0.67%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.54%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.10%

(注1) ①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

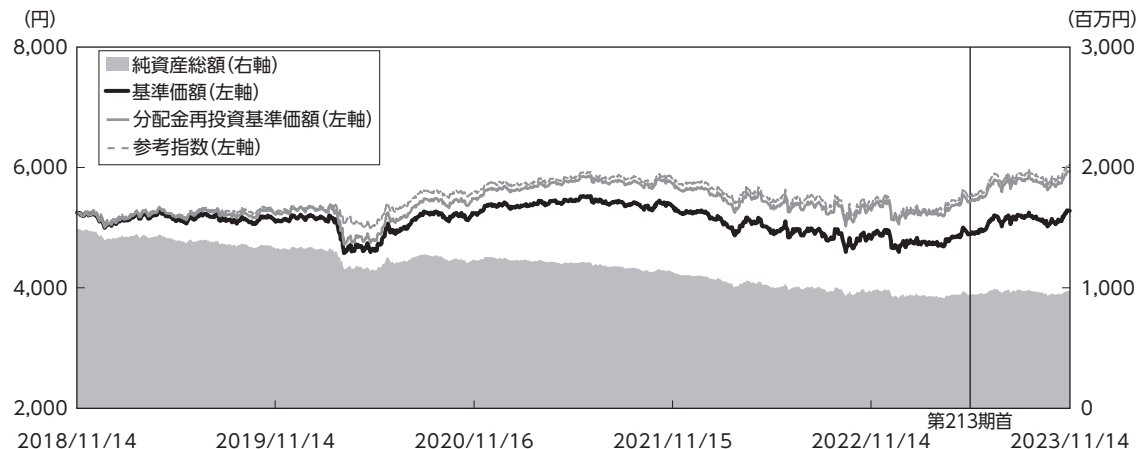
(注4) 投資先ファンドとは、このファンドが組入れている投資信託証券です。

(注5) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注6) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

最近5年間の基準価額等の推移

(2018年11月14日～2023年11月14日)



(注1) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注2) 実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注3) 参考指数は、ブルームバーグ・ユーロ総合インデックス（円換算ベース）です。

(注4) 分配金再投資基準価額および参考指数は、2018年11月14日の値を基準価額と同一となるように指数化しています。

最近5年間の年間騰落率

	2018/11/14 期首	2019/11/14 決算日	2020/11/16 決算日	2021/11/15 決算日	2022/11/14 決算日	2023/11/14 決算日
基準価額(円)	5,253	5,098	5,235	5,346	4,813	5,281
期間分配金合計(税込み)(円)	—	120	120	120	120	120
分配金再投資基準価額騰落率(%)	—	-0.7	5.2	4.4	-7.8	12.4
参考指数騰落率(%)	—	0.0	6.7	3.8	-7.8	12.7
純資産総額(百万円)	1,492	1,325	1,228	1,130	964	974

(注) 参考指数は、ブルームバーグ・ユーロ総合インデックス（円換算ベース）です。参考指数は投資対象資産の相場を説明する代表的な指数として記載しております。

「Bloomberg®」および各ブルームバーグ・インデックスは、Bloomberg Finance L.P.および、同インデックスの管理者である Bloomberg Index Services Limited（以下「BISL」）をはじめとする関連会社（以下、総称して「ブルームバーグ」）のサービスマークであり、アムンディ・アセットマネジメントによる特定の目的での使用のために使用許諾されています。ブルームバーグはアムンディ・アセットマネジメントとは提携しておらず、また、アムンディ・毎月分配ユーロ債券ファンドを承認、支持、レビュー、推奨するものではありません。ブルームバーグは、アムンディ・毎月分配ユーロ債券ファンドに関連するいかなるデータもしくは情報の適時性、正確性、または完全性についても保証しません。

投資環境

〈欧州債券市場〉

当作成期の欧州投資適格債市場では、インフレ率の減速が予想よりも遅いことを背景に金利は上昇しました。当作成期初、欧州の経済指標は市場予想に近づいたものの、インフレ率の減速ペースは緩やかな動きとなりました。また、8月に発表された7月の中国の経済活動データは需要と供給の指標の伸びがいずれも低調で、大きなサプライズとなりました。これは欧州市場への影響の観点から警戒され、クレジット・スプレッドが拡大しました。その後、10月に起きた中東紛争は市場の強い懸念要因となり、リスク回避姿勢が急速に広がったものの、状況はおおむね抑制的で、エネルギー価格への大きな影響はみられませんでした。こうした状況下、社債市場の発行額は低水準で推移しました。さらに、欧米の政策金利はピークに達しているとみられる中、ECB（欧州中央銀行）とFRB（米連邦準備理事会）はいずれも直近の会合で政策金利を据え置きましたが、必要な場合は、さらなる利上げの可能性を排除しませんでした。こうした状況において、国債利回りは上昇し、クレジット・スプレッドは当作成期中に縮小しました。

〈為替市場〉

当作成期、ユーロ／円相場は147円近辺で取引を開始し、ECBによる利上げを背景にユーロは緩やかに上昇し、6月末には157円をつけました。その後、160円の手前でしばらくもみ合ったのち、当作成期末にかけてユーロは再び上昇し、162円台で当作成期末を迎えました。

ポートフォリオ

〈当ファンド〉

当ファンドはAmundi Funds ユーロ・アグリゲート・ボンドと Amundi Funds ユーロ・コーポレイト・ボンドに投資することにより、信託財産の着実な成長と安定的な収益確保を図ることを目指して運用を行うことを目的としています。二つのファンドの投資対象は、ユーロ建の債券市場で取引される国債等公共債・国際機関債・社債等です。

(アムンディ・ジャパン株式会社)

〈Amundi Funds ユーロ・アグリゲート・ボンド〉

当ファンドは当作成期中に、デュレーションのアンダーウェイト幅を減らし、ポジションを中立としました。さらに、社債へのオーバーウェイト幅を減らし、中立程度としました。当作成期、当ファンドはベンチマークをアウトパフォームしました。年限配分がプラス寄与しました。

(アムンディ・アセットマネジメント)

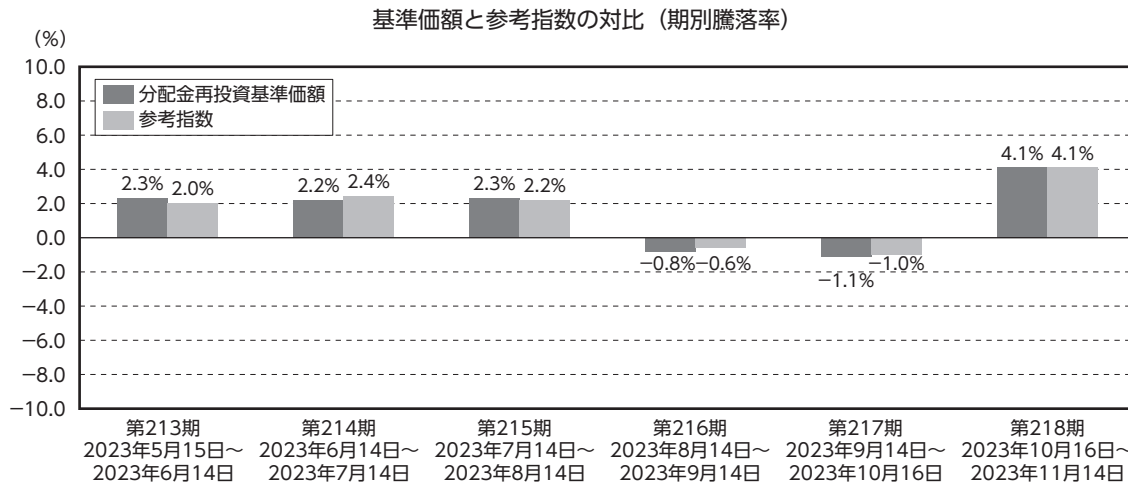
〈Amundi Funds ユーロ・コーポレイト・ボンド〉

当ファンドは当作成期中、ベンチマーク対比で高めのクレジット・リスクを維持しました。デュレーションはおおむねベンチマークと同程度を維持しました。社債のセクター配分では金融セクターのオーバーウェイトを継続しました。当作成期、当ファンドはベンチマークをアウトパフォームしました。社債のオーバーウェイト、銀行のAT1債の保有がプラスに寄与しました。

(アムンディ・アセットマネジメント)

ベンチマークとの差異

当ファンドは運用成果の目標基準となるベンチマークを設けておりません。以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率の対比です。



(注1) ファンドの騰落率は、分配金（税込み）が分配時に再投資されたものとみなして計算したものです。

(注2) 参考指数はブルームバーグ・ユーロ総合インデックス（円換算ベース）です。参考指数は投資対象資産の相場を説明する代表的な指数として記載しております。

分配金

収益分配金につきましては、基準価額水準および市況動向等を勘案した結果、以下のとおり分配を行いました。なお、収益分配に充てず、信託財産内に留保した収益については、委託会社の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。

分配原資の内訳

(単位：円・1万口当たり・税込み)

項目	第213期	第214期	第215期	第216期	第217期	第218期
	(2023年5月16日 ～2023年6月14日)	(2023年6月15日 ～2023年7月14日)	(2023年7月15日 ～2023年8月14日)	(2023年8月15日 ～2023年9月14日)	(2023年9月15日 ～2023年10月16日)	(2023年10月17日 ～2023年11月14日)
当期分配金	10	10	10	10	10	10
(対基準価額比率)	(0.200%)	(0.196%)	(0.192%)	(0.194%)	(0.196%)	(0.189%)
当期の収益	10	10	10	10	10	10
当期の収益以外	－	－	－	－	－	－
翌期繰越分配対象額	3,970	4,017	4,066	4,113	4,161	4,214

- ・「対基準価額比率」は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なる点にご留意ください。
- ・「当期の収益」「当期の収益以外」は小数点以下切捨てで算出しているため、合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。

今後の運用方針

〈当ファンド〉

Amundi Funds ユーロ・アグリゲート・ボンドおよび Amundi Funds ユーロ・コーポレイト・ボンドの投資比率は、引き続き市場環境に応じて変動させる方針です。

(アムンディ・ジャパン株式会社)

〈Amundi Funds ユーロ・アグリゲート・ボンド〉

金融引き締めサイクルが終了しているとみられる中、市場はそれほど遠からず、2024年後半と予想されている短期金利の引き下げを織り込むとみています。一方で、米国経済がこれまでと同様に順調に推移する場合や、インフレ率の低下が欧州の家計の購買力を押し上げる場合には、タームプレミアムの上昇が続くと考えます。こうした中、短期セクターは相対的に恩恵を受けやすいとみています。

(アムンディ・アセットマネジメント)

〈Amundi Funds ユーロ・コーポレイト・ボンド〉

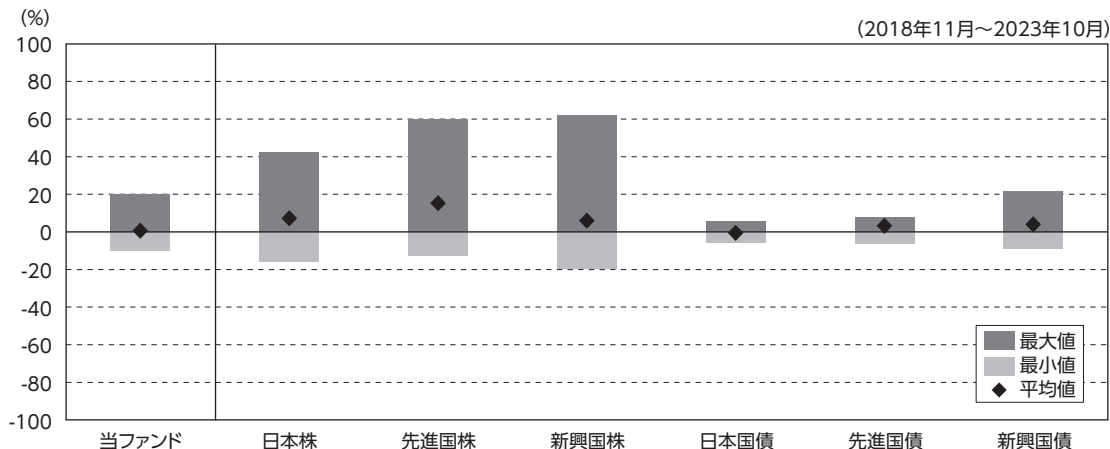
当ファンドは社債に対し前向きなスタンスを維持しています。社債市場は依然として明確な方向性を欠き、発行市場は低調で、グローバル経済に対する地政学的な状況や長期間にわたる高金利の影響をめぐる不透明感を背景に、金利のボラティリティ（変動性）が高い状態が根強く続いています。しかし、社債のバリュエーションはなお割安であり、スプレッドのボラティリティに耐えうると考えます。

(アムンディ・アセットマネジメント)

ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	2002年11月15日から無期限です。	
運用方針	主として、ユーロ建の債券市場（国債等公共債・国際機関債・社債等）へ投資する外国投資信託、「Amundi Funds ユーロ・アグリゲート・ボンド」と「Amundi Funds ユーロ・コーポレイト・ボンド」の投資信託証券を主な投資対象とし、信託財産の着実な成長と安定的な収益確保を図ることを目指して運用を行うことを基本方針とします。原則として、為替ヘッジは行いません。	
主要投資対象	アムンディ・毎月分配 ユーロ債券ファンド	Amundi Funds ユーロ・アグリゲート・ボンド Amundi Funds ユーロ・コーポレイト・ボンド
	Amundi Funds ユーロ・ アグリゲート・ボンド	ユーロ建の国債等公共債・国際機関債・社債
	Amundi Funds ユーロ・ コーポレイト・ボンド	ユーロ建の社債
運用方法	<p>①主として、ユーロ債券市場へ投資する外国投資信託の投資信託証券に投資します。</p> <p>②外国投資信託の投資信託証券を通じて投資する組入対象債券の格付は、原則として最低トリプルB格（BBB-/Baa3）とします。</p> <p>③組入対象とする投資信託証券は、変更することがあります。</p> <p>④外国投資信託の投資信託証券の組入比率は原則として高位を維持します。</p> <p>⑤組入れる外国投資信託の投資信託証券の組入比率やその変更は、委託会社の判断により適宜行います。</p>	
分配方針	毎決算時（年12回、原則毎月14日。休業日の場合は翌営業日）に、原則として以下の方針に基づき分配を行います。分配対象収益額の範囲は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。分配金額は、委託者が基準価額水準および市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わないこともあります。	

当ファンドと他の代表的な資産クラスとの騰落率の比較



当ファンドと他の代表的な資産クラスの平均騰落率、年間最大騰落率及び最小騰落率

(%)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
平均値	0.5	7.2	15.2	5.9	-0.6	3.1	3.9
最大値	19.8	42.1	59.8	62.1	5.4	7.9	21.5
最小値	-10.0	-16.0	-12.4	-19.7	-5.5	-6.1	-8.8

(注1) 上記は、当ファンドと他の代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したものです。

(注2) 上記は、2018年11月から2023年10月の5年間の各月末における直近1年間騰落率の平均値・最大値・最小値を、当ファンド及び他の代表的な資産クラスについて表示したものです。

各資産クラスの指数

日本株：東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

先進国株：MSCIコクサイ・インデックス (税引後配当込み、円ベース)

新興国株：MSCIエマージング・マーケット・インデックス (税引後配当込み、円ベース)

日本国債：NOMURA-BPI国債

先進国債：FTSE世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

新興国債：JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースィファイド (円ベース)

※詳細は最終ページの「指数に関して」をご参照ください。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円ベースの指数を採用しております。

- ・ 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。
- ・ 当ファンドは、分配金 (税込み) が分配時に再投資されたものとみなして計算した年間騰落率に基づき計算されており、実際の基準価額に基づいて計算した年間騰落率とは異なる場合があります。
- ・ 騰落率は直近月末から遡って算出した結果であり、当ファンドの決算日に対応した数値とは異なります。

ファンドのデータ

当ファンドの組入資産の内容

組入ファンド

2023年11月14日現在

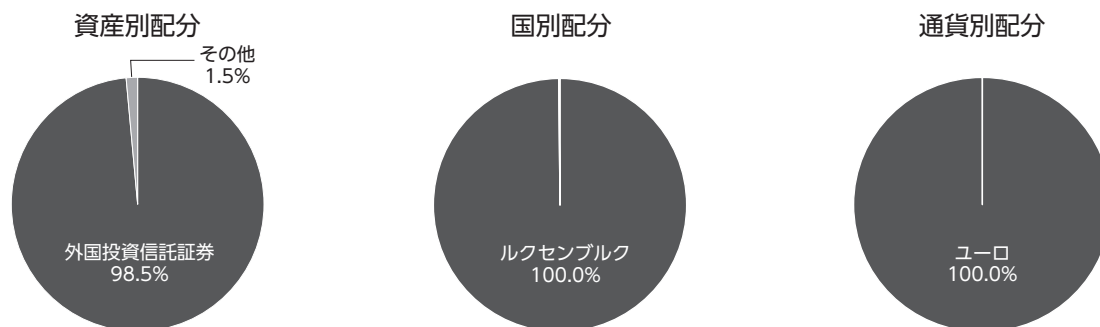
(組入銘柄数：2銘柄)

	銘柄	通貨	比率
1	Amundi Funds ユーロ・アグリゲート・ボンドー毎月分配クラス	ユーロ	94.0%
2	Amundi Funds ユーロ・コーポレート・ボンドー毎月分配クラス	ユーロ	4.5%

(注1) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）に記載されております。

種別構成



(注1) 資産別配分の比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 国別配分および通貨別配分の比率は、ポートフォリオ部分に対する評価額の割合です。

(注3) 比率は、小数点以下第2位を四捨五入しております。

純資産等

項目	第213期末 2023年6月14日	第214期末 2023年7月14日	第215期末 2023年8月14日	第216期末 2023年9月14日	第217期末 2023年10月16日	第218期末 2023年11月14日
純資産総額	953,641,651円	966,698,340円	983,465,985円	966,617,245円	945,353,478円	974,281,963円
受益権総口数	1,909,422,924口	1,898,028,990口	1,891,356,325口	1,876,913,011口	1,859,257,061口	1,844,945,826口
1万口当たり基準価額	4,994円	5,093円	5,200円	5,150円	5,085円	5,281円

※当作成期間（第213期～第218期）中における追加設定元本額は5,979,517円、同解約元本額は88,239,163円です。

組入ファンドの概要

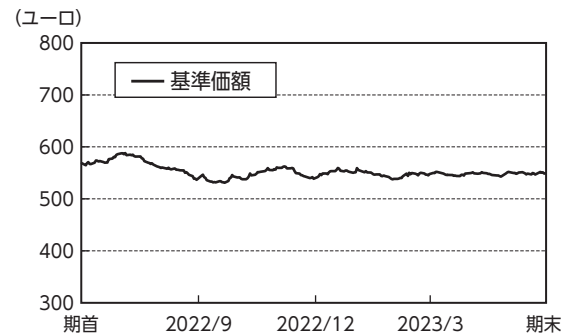
<Amundi Funds ユーロ・アグリゲート・ボンド>

決算日：2023年6月30日

(計算期間：2022年7月1日～2023年6月30日)

「基準価額の推移」は組入シェアクラスの内容ですが、他の開示情報につきましては、組入ファンド全体の内容を掲載していません。

基準価額の推移 (毎月分配クラス)



(注) 基準価額は、収益分配金を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

組入上位10銘柄

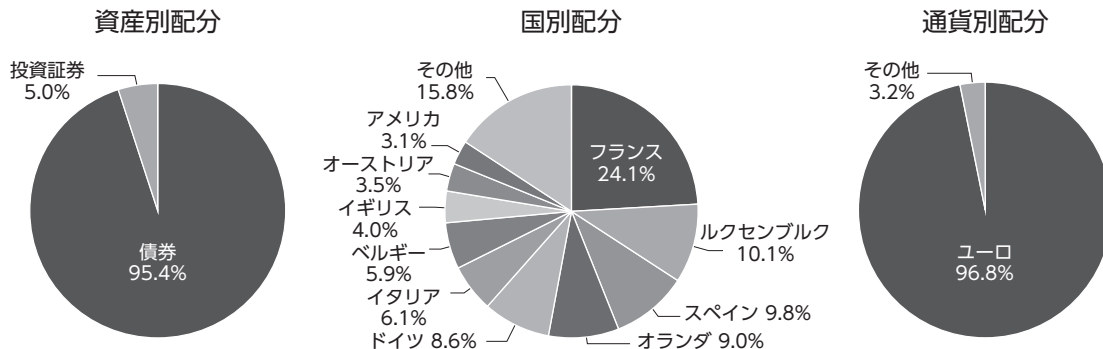
2023年6月30日現在
(組入銘柄数：327銘柄)

	銘柄	通貨	発行国	比率
1	FRENCH REPUBLIC 1.25% 25/05/2036	ユーロ	フランス	1.8%
2	KINGDOM OF SPAIN 5.15% 31/10/2028	ユーロ	スペイン	1.6%
3	EUROPEAN INVESTMENT BANK 2.75% 28/07/2028	ユーロ	ルクセンブルク	1.6%
4	HELLENIC REPUBLIC 3.875% 15/06/2028	ユーロ	ギリシャ	1.6%
5	FEDERAL REPUBLIC OF GERMANY 0.25% 15/02/2027	ユーロ	ドイツ	1.6%
6	KINGDOM OF NETHERLANDS 0% 15/07/2031	ユーロ	オランダ	1.6%
7	EFSF 3% 15/12/2028	ユーロ	ルクセンブルク	1.1%
8	REPUBLIC OF FINLAND 1.5% 15/09/2032	ユーロ	フィンランド	1.1%
9	ITALIAN REPUBLIC 0.25% 15/03/2028	ユーロ	イタリア	1.0%
10	EUROPEAN INVESTMENT BANK 1% 14/03/2031	ユーロ	ルクセンブルク	1.0%

(注1) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書 (全体版) に記載されております。

種別構成



(注1) 資産別配分の比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 国別配分および通貨別配分の比率は、ポートフォリオ部分に対する評価額の割合です。

(注3) 比率は、小数点以下第2位を四捨五入しております。

1万口当たりの費用明細

該当情報の取得ができないため、掲載はしていません。

組入ファンドの概要

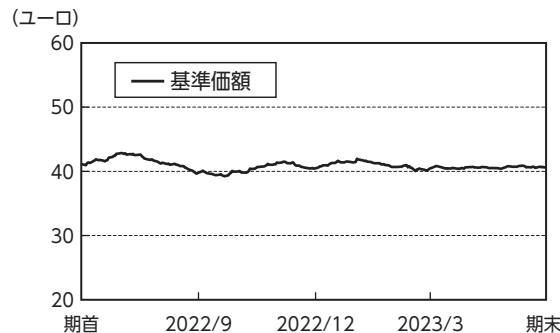
<Amundi Funds ユーロ・コーポレート・ボンド>

決算日：2023年6月30日

(計算期間：2022年7月1日～2023年6月30日)

「基準価額の推移」は組入シェアクラスの内容ですが、他の開示情報につきましては、組入ファンド全体の内容を掲載していません。

基準価額の推移 (毎月分配クラス)



(注) 基準価額は、収益分配金を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

組入上位10銘柄

2023年6月30日現在

(組入銘柄数：329銘柄)

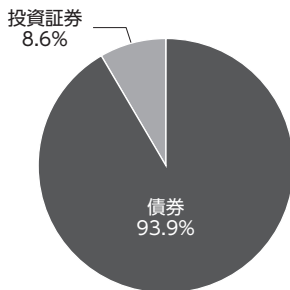
	銘柄	通貨	発行国	比率
1	BTF 0% 20/09/2023	ユーロ	フランス	5.1%
2	AMUNDI EURO LIQUIDITYSHORT TERM SRI FCP	ユーロ	フランス	1.7%
3	AMUNDI FRN CREDIT EURO VALUE FACTOR FCP	ユーロ	フランス	1.1%
4	AMUNDI FUNDS EUROPEAN SUBORDINATED BOND ESG	ユーロ	ルクセンブルク	1.0%
5	AMUNDI FUNDS EURO CORPORATE SHORT TERM GREEN BOND	ユーロ	ルクセンブルク	1.0%
6	UNIBAIL RODAMCO SE VAR PERP	ユーロ	フランス	1.0%
7	AMUNDI FUNDS SICAV NET ZERO AMBITION GLOBAL CORPORATE BOND	ユーロ	ルクセンブルク	0.8%
8	CAIXABANK SA VAR 30/05/2034	ユーロ	スペイン	0.8%
9	BANCO BILBAO VIZCAYA ARG VAR PERPETUAL	ユーロ	スペイン	0.8%
10	DIAGEO FINANCE PLC 3.5% 26/06/2025	ユーロ	イギリス	0.8%

(注1) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

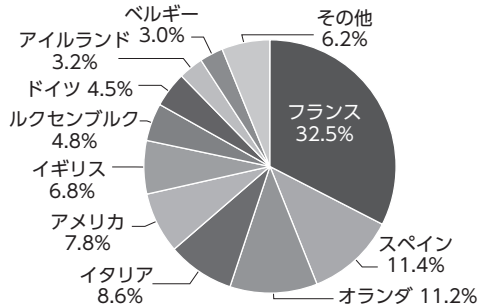
(注2) 全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書 (全体版) に記載されております。

種別構成

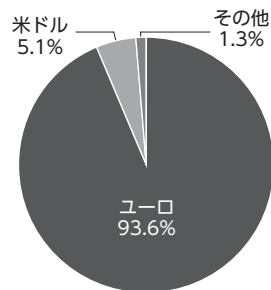
資産別配分



国別配分



通貨別配分



(注1) 資産別配分の比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 国別配分および通貨別配分の比率は、ポートフォリオ部分に対する評価額の割合です。

(注3) 比率は、小数点以下第2位を四捨五入しております。

1万口当たりの費用明細

該当情報の取得ができないため、掲載はしていません。

指数に関して

○「代表的な資産クラスとの騰落率の比較」に用いた指数について

• 東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

東証株価指数 (TOPIX) とは、日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークです。TOPIXの指数値およびTOPIXにかかる標章または商標は、株式会社 J P X 総研または株式会社 J P X 総研の関連会社 (以下「J P X」という。) の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用などTOPIXに関するすべての権利・ノウハウおよびTOPIXにかかる標章または商標に関するすべての権利は J P X が有します。J P X は、TOPIXの指数値の算出または公表の誤謬、遅延または中断に対し、責任を負いません。本商品は、J P X により提供、保証または販売されるものではなく、本商品の設定、販売および販売促進活動に起因するいかなる損害に対しても J P X は責任を負いません。

• MSCIコクサイ・インデックス (税引後配当込み、円ベース)

MSCIコクサイ・インデックスとは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、日本を除く世界の先進国で構成されています。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc.に帰属します。また、MSCI Inc.は、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有します。

• MSCIエマージング・マーケット・インデックス (税引後配当込み、円ベース)

MSCIエマージング・マーケット・インデックスとは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、世界の新興国で構成されています。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc.に帰属します。また、MSCI Inc.は、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有します。

• NOMURA-BPI国債

NOMURA-BPI国債とは、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社 (以下「NFRC」という。) が公表する、国内で発行された公募利付国債の市場全体の動向を表す投資収益指数です。同指数の知的財産権とその他一切の権利はNFRCに帰属します。

• FTSE世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

FTSE世界国債インデックス (除く日本、円ベース) とは、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。このインデックスのデータは、情報提供のみを目的としており、FTSE Fixed Income LLCは、当該データの正確性および完全性を保証せず、またデータの誤謬、脱漏または遅延につき何ら責任を負いません。このインデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。

• JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースファイド (円ベース)

JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースファイドとは、J.P.Morgan Securities LLCが算出し公表している、現地通貨建のエマージング・マーケット債で構成されている指数です。同指数の著作権はJ.P.Morgan Securities LLCに帰属します。